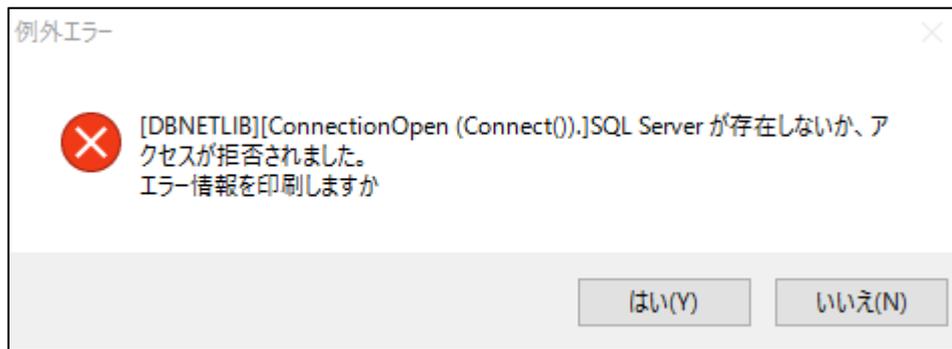


【SQL Server が存在しないか、アクセスが拒否されました。】の原因と対策方法

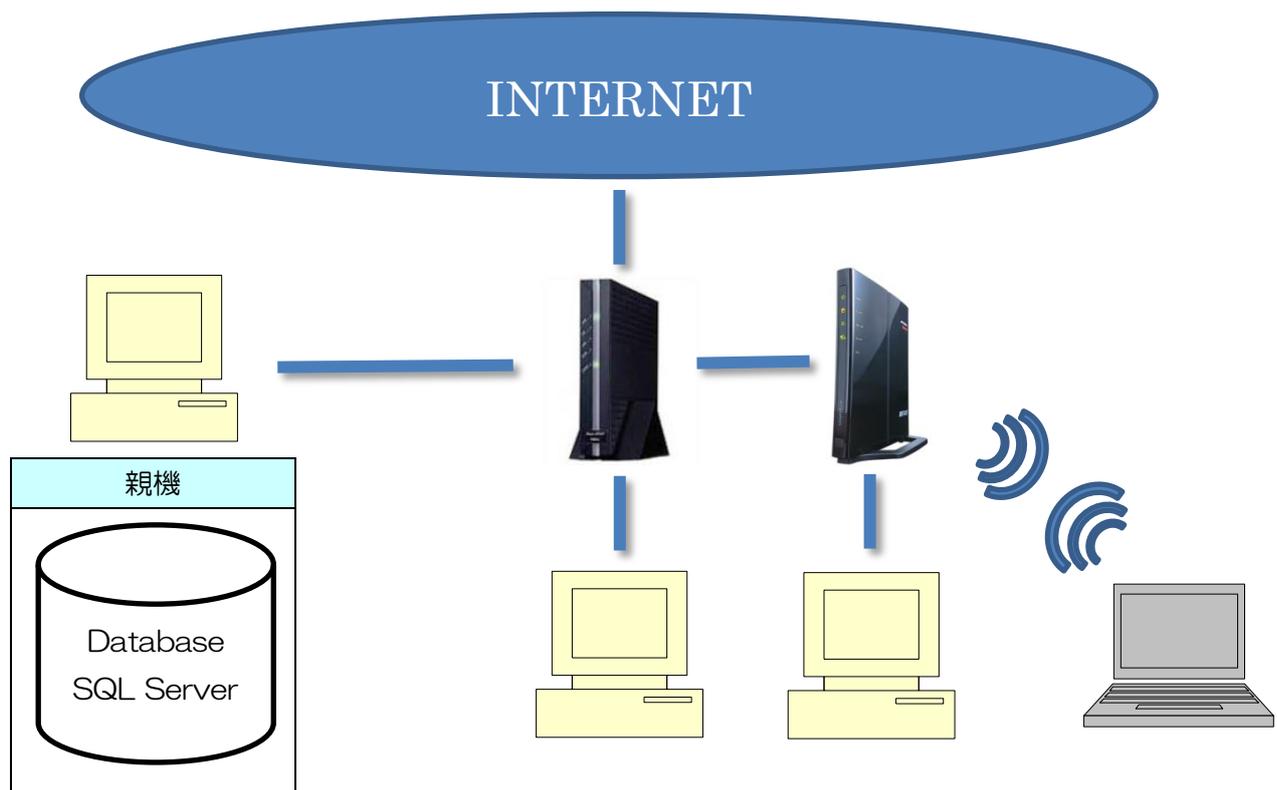


介五郎は「SQL Server」にデータを保存しており、下記の図のように親機の PC 内にある「SQL Server」に接続し、利用者台帳や利用票、提供票のデータを参照し起動する仕組みになっています。

上図のエラーメッセージが出る場合はこの「SQL Server」のデータを参照できなくなっています。

このエラーがでる原因は複数あり、それに合わせて対策が必要です。

※親機の PC が起動していることが前提



※  LAN ケーブルを使用した有線での接続

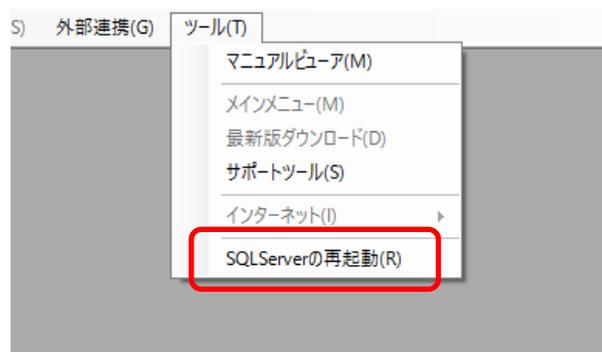
※  無線ルーターを使用した無線での接続

原因① 「SQL Server」が起動していない。

親機の介五郎そのもので【SQL Serverが存在しないか、アクセスが拒否されました。】とエラーが出た場合は、SQL Serverが起動していない可能性があります。

対策方法 「SQL Server」を起動させる

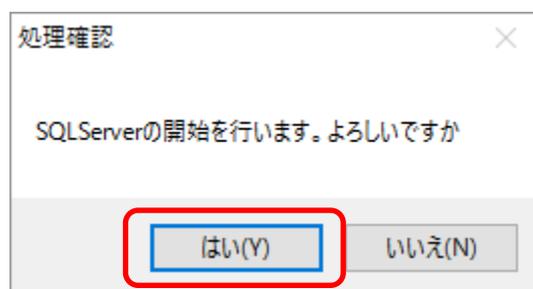
介五郎の親機でSQLの再起動を行います。



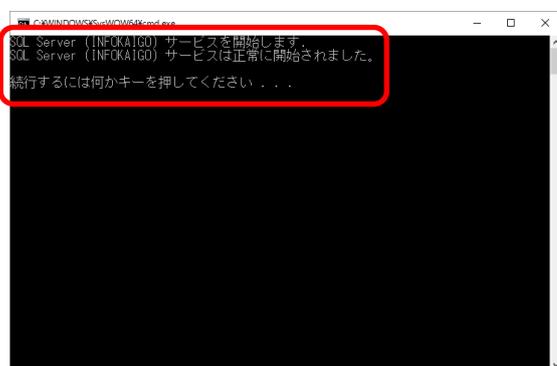
- ① 画面上部のメニューより、「ツール(T)」 - 「SQL Serverの再起動(R)」をクリックします。



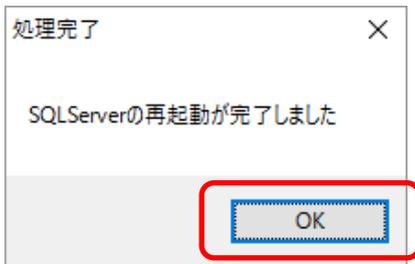
- ② SQL Serverの再起動画面が表示されますので「開始」ボタンをクリックします。
※現在の状態が開始中である場合、開始ボタンではなく、「再起動」ボタンで表示されます。



- ④ 処理確認メッセージが表示されますので「はい(Y)」をクリックします。



- ⑤ 左図のようにコマンドプロンプト画面が表示され、問題なければサービスは正常に開始されましたと表示されます。メッセージに従い、何かキーを押してください。



⑥ 処理完了のメッセージが表示されますので **OK** をクリックします。



⑦ 処理が完了すると介五郎が自動的に再起動されたら処理が完了となります。

原因② インターネットに接続していない

介五郎はインターネット接続していなければいけないものではありませんが、インターネット接続されていた状態が接続できないようになっていると、介五郎の親機と子機が同じネットワーク上に存在しなくなったということが考えられます。

対策方法 インターネットに接続させる

- ① LAN ケーブルの差し込み直し
↓
- ② PC の再起動
↓
- ③ モデムの再起動
↓
- ④ ルーターの再起動
↓
- ⑤ 再び PC の再起動

※基本は各周辺機器の再起動を試します。再起動でもネットに繋がらない場合はケーブルの故障や、ルーターの設定等が関わってくるので、直接各周辺機器のサポートセンターへ問い合わせさせていただく必要があります。

原因③ セキュリティ対策ソフトのケースⅠ

介五郎は起動時に最新版の情報を確認する為ネットに接続します。その時にセキュリティ対策ソフトによっては接続を遮断し、接続しようとした介五郎を不正なアプリケーションとして検知してしまいます。

対策方法 介五郎を無害なものとして認識させる

セキュリティ対策ソフトが原因しているかどうかは、セキュリティ対策ソフトそのものを無効にすることで確認できます。セキュリティ対策ソフトによって設定方法は異なりますが、介五郎を検知の例外対象に設定することは同じです。

原因④ セキュリティ対策ソフトのケースⅡ

介五郎の子機は親機の SQL Server に接続して起動します。介五郎の親機の Windows やセキュリティソフトのファイアウォールはこの時に、外部から侵入されていると検知し、子機からの接続を遮断してしまいます。

対策方法 SQL Server のポートを通す

Windows やセキュリティ対策ソフトのファイアウォールが原因しているかどうかは、ファイアウォールそのものを無効にすることで確認できます。Windows や各セキュリティ対策ソフトによって設定方法は異なりますが、SQL Server の「.exe」と「ポート」を例外対象に設定することは同じです。

■ .exe の例外設定

(Cドライブ→Program Files→Microsoft SQL Server→MSSQL(各バージョン)→MSSQL→Binn→**Sqlservr.exe**)

■ ポート番号

(UDP**1434**)

※Windows ファイアウォールの設定は下記アドレスを参照

http://www.info-tec.ne.jp/system/QAfiles/A1_firewall.pdf